

医療福祉学科 言語聴覚専攻

本専攻では、仏教精神に基づいた深い人間理解と人間尊重の価値観を基盤とし、言語聴覚士に必要な知識と技術を学び、社会貢献ができる女性を育成します。

そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求めています。

このような入学者を適正に選抜するために、教科(国語、英語)の試験、小論文、面接など多様な選抜方法を実施します。

- 高等学校等までの「国語」、「英語」等の学習を通じて、言語聴覚士を志す基盤として必要なコミュニケーション能力と姿勢を備えている。
- 建学の精神である「思いやりの心」を持ち、障害児・者を理解し、寄り添うことができる。
- 言語聴覚士として必要な知識・技術の習得に、熱心に根気よく取り組み、言語聴覚障害の幅広い課題について、関心がある。
- 言語聴覚士としての能力を習得し、言語・聴覚・嚥下等に障がいのある人々の機能の回復・獲得をはかり、個々の状態に応じたコミュニケーション能力の向上と社会参加を支援しようとする意欲がある。